

長崎人がそれぞれの“スキ”を発信!!

ながさき ラバーズ 長崎 **であい** LOVERS

今月のLOVERS

吉田 雅美 さん



Q1. であいラバーズになったきっかけは?

5人の息子を育てる中で、いろいろな人と素敵な出会いを経験しました。次男には生まれた時から障害があり、それを知って気持ちが落ち込んだ時期もありました。しかし、次男を通して、同じ境遇のママ友たちと出会い、支えあったり、会話を楽しんだりする中で、“出会いってとても大切だな”と感じるようになりました。

今では、障害のある子どもをもつ保護者同士が会える場として、障害支援に特化した子育て支援センター

長崎には、夜景やおくんち、ちゃんぽん、カステラなど魅力がいっぱいです。そこで始まったプロジェクトが「長崎〇〇ラバーズ」。市民一人ひとりが自分の“スキ”を発信し、長崎を盛り上げていく取り組みです。今回は、障害支援に特化した子育て支援センター「にじのくに」の吉田さんに長崎の“スキ”を聞きました。

「にじのくに」をメンバーと一緒に運営しています。

Q2. であいの醍醐味は?

出会いを通して、世界が広がることです。一つの出会いでも、それがきっかけでいろいろな出会いにつながります。振り返れば、運命だったと感じる出会いがありますよね。

利用者のママさんも初めは緊張されていますが、ママ友と出会うことで、会話を楽しんだり、子どもの障害に対して心の変化が生まれたりすることもあるようです。

そうして、ママとお子さんの笑顔に出会えると、とても嬉しくなります。



Q3. 今後の目標は?

子育てをしていると、「長崎には優しい人が多いなあ」と感じたり、「長崎港が見渡せる絶景の公園や美味しい食べ物などに溢れているなあ」と感じます。

そういった魅力を大切にしつつ、親子でいろいろな好きなもの・ことと出会えるイベントを行いたいですね。

あなたもLOVERSになろう! 詳しくは公式サイトをチェック



フェイスブック
@nagasaki lovers



インスタグラム
@nagasaki lovers



ホームページ
長崎LOVERS

働き盛りの長崎人をクローズアップ!!

はたらきびと 輝く働き人

社会福祉法人 長崎厚生福祉団 富澤 ひかる さん



高齢者福祉施設を中心に社会福祉事業を行っています。県内で38事業を運営。地域に密着したサービスを提供し、福祉文化の創造を目指します。今回は入社3年目の富澤さんを紹介します。

Q1. この会社に就職した理由は?

幼い頃から日舞で接する機会が多いお年寄りのかたがたの手助けがしたいと思っていました。就職先はさまざまな分野で探しましたが、高齢者のために働きたい気持ちが再び湧き、企業説明会で「無資格でも研修など充実していて安心」という先輩のお話を聞いて決めました。

Q2. どんな仕事をしていますか?

「介護老人保健施設シンフォニー稲佐の森」で介護の仕事をしています。リハビリをして在宅復帰を目指す病院と自宅の中間施設なので、利用者のかたの自立への計画を立てたり、見守りや介助を行ったりしています。

Q3. どんなところにやりがいを感じますか?



食事や排泄、入浴介助など一日の生活を支援するので、きつと思うこともありますが、「あんで良かった〜」など嬉しい言葉をたくさんもらえて、日々やりがいを感じています。敬老会などで踊りを披露したとき、「良かったよ、また見せてね」と笑顔になる利用者のかたがたくさんいたので、今後、施設でも皆さんにまた楽しんでもらえたらと思います。

Q4. どんな職場ですか?

みんなでフォローし合い、和気あいあいとしています。最初は不安もありましたが、先輩の優しく熱心なご指導と「交換ノート」のおかげで今では楽しく仕事をしています。研修やプリセプター制(教育法)、事業所内保育施設や職員食堂など環境が整っているので、長く安心して働けます。



Q5. 今後の目標は?

介護福祉士の資格を取得し、利用者のかたが常に安心して任せられるような介護を目指したいです。

「長崎キラリ☆カンパニー」

長崎のキラリ輝く地元企業を、長崎ケーブルメディアの「なんでんカフェ」の放送でも紹介しています。

